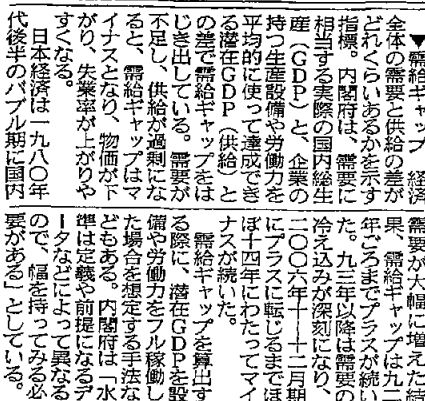


10
—
12
月

輸出急減が下押し



内閣府は需給ギャップの推計値を同日の経済財政諮問会議に提出した。十二三期の需給ギャップは七一九月期のマイナス〇・七％から需要不足の方向に大きく広がった。需給ギャップは日本五・〇％まで拡大した。世界的な景気停滞傾向が強まった〇八年七一九月期から再びマイナスに転じた。

に14年の歲月

要不足をどう埋めるかに 馳・経済財政相も会議終 一時的

「賢明な支出」で経済復興を

経済財政諮問会議の民 ことを要請した。

閣議員は十九日の会合 提言では「日本の経済

で、「経済復興に向けて 対策は先進諸国と比べて

政策の総動員」を求める 遜色（そんしよ）ない

提言を示した。「民智主 が、政策実行スピードに

導の持続的な成長」を目 決定的に欠けている」と

標としたうえで、経済危 批判、関連法案の審議な

機には、大胆に対応する」 ど政策実行の速度をあげ

るようう

対策は先進 諸国ののと

ではな

にす

追加

「では公共事業の額を単純に積み上げるのではなく、中長期的な成長力を高め、将来の民需主導の成長につながる「賢明な支出」に絞るべきだと主張した。賢明な支出には「低炭素発電」「健康増進」「底力発揮」を柱とする成長戦略をこの指針にするもの求めている。

民党からはい必要に二十兆三
(菅義偉選対策副委員長)、二ヶ兆兆田の規
模がある(山崎派幹部)
と員的な額まで飛び出
している。需給ギャップ
の拡大はこうした声を勢
いづける可能性がある。
十九日の路間会議でも
内閣府試算を踏まえ、需
要不足をどう埋めるかに
ついて意見交換。麻生太
郎首相は「日本経済は戦
後最大の難局にある」と
話うえで「公共事業の
執行を可能な限り早く
てほしい」と述べた。
一方、民間議員は会議
に提出した提言で「経済
の需要不足をすべて公共
事業で埋めることが政策
の目的ではない」と指摘
した。与野党財務・金
融・経済財政相も会議終
了後の記者会見で「公共
投資は短期的に効果があ
るが、波及効果はいまい
ち」と述べた。

公共事業及ばず
需給ギャップが大きく
広がった九九年には当時
の小淵恵三政権が、需要
不足を埋めるために大額
に公共事業を積み増し
た。この時も公共事業で
一時的に需要が回復して

も長続きせず、不良債権処理などを進めるまでは十分な景気回復には至らなかった。民間エコノミストの間でも「需給ギャップをすべて公的需要で埋めようとするのは問題」（みずほ総合研究所の山本康雄氏）と、需給ギャップと財政支出規模を一致させる必要はないとの意見が多い。

企業から家計悪化波及

日銀の白川方明総裁は十九日の記者会見で、昨年十一月期の実質国内総生産（ＧＤＰ）が前期比年率で二・七％減となったことについて「非常に厳しい数字」と指摘した。そのうえで「一・三ヶ月と四・六ヶ月のＧＤＰは厳しい姿を想定している」と述べ、四・六ヶ月まで厳しい情勢が続くとの見方を示した。企業の息の詰まる減産で在庫調整が進み、着以降は減産ペースが緩やかになるとの見方についても「不確実性が高い」と述べた。

与謝野恵財務・金融・経済財政相は十九日の月例経済報告関係閣僚会合後の記者会見

（十九日後、日銀本店）

記者会見する日銀の白川方明総裁



企業急減産、響く

業から家計への悪化の波及がはつきりしてきたと述べた。景気の先行きについては「民間の調査機関で一一三ヶ月を樂觀視する意見はない」と指摘した。

二月の月例報告では個人消費の判断で初めて「減少」の表現を使った。与謝野経財相は「不況に比較強い個人消費に侵やめながら影響が出始めた。政策でも受け止めていきたい」とも語った。